



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東
コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,321	1.1	1,540	9.8	1,624	8.9	1,060	9.0
2023年3月期第3四半期	27,037	△1.7	1,403	5.4	1,492	6.5	972	△8.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,099百万円 (7.5%) 2023年3月期第3四半期 1,022百万円 (△4.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	730.10	—
2023年3月期第3四半期	666.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	28,428	14,401	50.1
2023年3月期	27,690	13,476	48.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 14,236百万円 2023年3月期 13,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	60.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	1.4	1,370	0.5	1,500	△0.0	1,000	1.4	688.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	1,645,360株	2023年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	193,017株	2023年3月期	192,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,452,385株	2023年3月期3Q	1,459,007株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の感染症法上の位置づけが5類に移行したこともあり、経済活動は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化および諸外国の金融政策に伴う為替の変動等により、資源・原材料価格の高騰が消費財全般に影響を与えており、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は減収減益、ブライダル事業は増収減益となり、建設不動産事業は増収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高につきましてはセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

(カー用品事業)

2023年5月にあったタイヤ値上げにおいて、値上げ前の営業活動による需要取り込みがあったのちもタイヤ販売は堅調に推移しました。また、収益性の高いピットサービス部門も順調に推移し、車の出張買取等の施策を強化した車両販売も計画を上回る推移をしておりました。しかしながら当第3四半期会計期間において例年以上に気温の高い日が続いた結果、冬季商材の動きが想定以上に鈍り、前年同期と比べ減収となりました。

利益面においても、キャッシュレス決済や車両売買の増加に伴う手数料、店舗POSシステム入替等の費用の増加により、前年同期と比べ減益となりました。

(ブライダル事業)

感染症の影響が落ち着いているなか、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施いたしました。また、第1四半期会計期間において婚礼受注の強化に努めたことと、アルカンシエル横浜の一部会場の改装がお客様の支持を得られたことにより、前年同期と比べ増収となりました。利益面においては、広告宣伝の強化およびシステム開発等の費用の増加により、前年同期と比べ減益となりました。

(建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めながら、当第3四半期会計期間において大型の不動産物件売却をしたことにより、前年同期と比べ増収増益となりました。

(その他の事業)

コメダ事業については、売上高は順調に推移しました。また、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,321百万円（前年同期比1.1%増）となり、営業利益につきましては1,540百万円（前年同期比9.8%増）、経常利益につきましては1,624百万円（前年同期比8.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては1,060百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は28,428百万円となり、前連結会計年度末と比べ737百万円増加しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、11,749百万円（前連結会計年度末比784百万円増）となりました。主な増加要因は売掛金の増加（825百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、16,679百万円（前連結会計年度末比46百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（99百万円減）であります。

c. 流動負債

流動負債残高は、9,068百万円（前連結会計年度末比256百万円増）となりました。主な増加要因は、未払法人税等の増加（262百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、4,957百万円（前連結会計年度末比443百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（527百万円減）であります。

e. 純資産

純資産残高は、14,401百万円（前連結会計年度末比924百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（886百万円増）であります。

自己資本比率は、50.1%となり前連結会計年度末比1.9ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899,577	1,463,428
売掛金	1,631,499	2,457,310
棚卸資産	6,402,653	7,037,644
その他	1,030,663	790,750
流動資産合計	10,964,393	11,749,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,687,039	4,587,941
土地	6,862,838	6,909,738
リース資産(純額)	27,035	55,734
建設仮勘定	330	1,537
その他(純額)	528,377	539,371
有形固定資産合計	12,105,621	12,094,324
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	118,096	152,118
無形固定資産合計	127,128	161,150
投資その他の資産		
投資有価証券	105,370	113,059
長期貸付金	18,890	18,440
長期前払費用	120,554	124,823
差入保証金	2,784,830	2,703,577
繰延税金資産	1,394,203	1,392,864
その他	89,886	90,717
貸倒引当金	△20,607	△19,857
投資その他の資産合計	4,493,128	4,423,625
固定資産合計	16,725,878	16,679,101
資産合計	27,690,271	28,428,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,171,319	2,355,118
短期借入金	3,826,343	3,876,099
リース債務	17,262	17,883
未払法人税等	169,190	431,472
未払消費税等	263,765	177,425
未成工事受入金	24,605	20,396
賞与引当金	443,829	225,059
その他	1,895,770	1,964,881
流動負債合計	8,812,086	9,068,336
固定負債		
長期借入金	2,648,753	2,121,220
リース債務	16,052	40,236
繰延税金負債	29,561	29,561
役員退職慰労引当金	477,754	514,483
退職給付に係る負債	623,405	646,469
資産除去債務	1,002,274	1,010,214
長期預り保証金	603,411	595,780
固定負債合計	5,401,213	4,957,966
負債合計	14,213,299	14,026,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,876,719	11,762,817
自己株式	△666,903	△667,108
株主資本合計	13,348,707	14,234,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,114	24,322
退職給付に係る調整累計額	△24,858	△22,514
その他の包括利益累計額合計	△5,743	1,807
非支配株主持分	134,008	165,523
純資産合計	13,476,971	14,401,931
負債純資産合計	27,690,271	28,428,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	27,037,201	27,321,260
売上原価	14,932,398	14,894,402
売上総利益	12,104,802	12,426,857
販売費及び一般管理費	10,701,511	10,886,427
営業利益	1,403,290	1,540,429
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,116	11,452
受取手数料	69,804	77,281
その他	52,148	27,095
営業外収益合計	134,069	115,829
営業外費用		
支払利息	25,124	20,621
その他	20,199	11,355
営業外費用合計	45,323	31,976
経常利益	1,492,036	1,624,282
特別利益		
固定資産売却益	5,793	869
助成金収入	210	—
特別利益合計	6,003	869
特別損失		
店舗閉鎖損失	6,626	—
固定資産除却損	2,910	1,469
その他	5,116	18
特別損失合計	14,652	1,487
税金等調整前四半期純利益	1,483,387	1,623,664
法人税等	467,442	531,762
四半期純利益	1,015,944	1,091,901
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,225	31,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	972,718	1,060,386

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,015,944	1,091,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,475	5,207
退職給付に係る調整額	2,344	2,344
その他の包括利益合計	6,820	7,551
四半期包括利益	1,022,764	1,099,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979,538	1,067,938
非支配株主に係る四半期包括利益	43,225	31,515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	22,756,611	3,136,868	899,884	26,793,364	243,836	27,037,201	—	27,037,201
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,890	1,235	182,513	185,639	1,047,276	1,232,915	△1,232,915	—
計	22,758,501	3,138,103	1,082,398	26,979,004	1,291,112	28,270,116	△1,232,915	27,037,201
セグメント利益	1,025,108	270,486	28,775	1,324,371	76,975	1,401,346	1,944	1,403,290

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	22,541,456	3,155,287	1,366,685	27,063,428	257,831	27,321,260	—	27,321,260
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,890	2,507	323,084	327,482	1,048,747	1,376,229	△1,376,229	—
計	22,543,346	3,157,795	1,689,769	27,390,911	1,306,578	28,697,490	△1,376,229	27,321,260
セグメント利益	952,204	210,482	290,246	1,452,933	93,336	1,546,270	△5,840	1,540,429

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。